

(様式1)

下教総第86号

令和元年7月16日

文部科学大臣 殿

下野市長 広瀬 寿雄



施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

記

1. 施設整備計画の名称
下野市公立学校等施設整備計画
2. 計画期間
平成28年度～平成30年度（3年間）

(担当)

下野市教育委員会教育総務課

住所：栃木県下野市笹原26番地

電話：0285-32-8917

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和元年7月10日 評価委員会開催
令和元年7月10日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

計画期間終了後、下野市教育委員会の点検評価に係る外部評価委員会において事後評価を行う。
4名の学識経験者及び1名の公募者、計5名による外部評価委員会が客観的に評価する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、概ね達成できた。
下野市教育委員会の点検評価に係る外部評価委員会において、学校施設におけるトイレの洋式化、和式便器を残す市の整備方針、工事施工時期の選定及び体育施設におけるトイレの洋式化、多目的トイレの設置等、児童生徒や利用者にとってより良い環境を提供できたことを評価いただいた。
今後も施設の現状を把握した上で、計画的かつ効果的な事業を実施し、より良い環境の改善に取り組んでいきたい。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

建築後20年以上を経過した校舎について、大規模改修等の工事を実施することで、不具合箇所の解消やトイレの設備改修による機能向上により、児童・生徒にとって安全で快適な教育環境の充実を図ることができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

建築後30年以上を経過し老朽化が進んでいた南河内東体育館を耐震改修を実施することにより、利用者が安全で快適に利用できるようになった。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了 年 月 日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備 考 (改築事業は、旧施設のとりこわし時期を明記)
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
南河内中学校(Ⅰ期工事)	(4)	06	大規模改造(老朽)	校	R	H29.3～H29.10	H29.10.31		
南河内中学校(Ⅰ期工事)	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	H29.3～H29.10	H29.10.31		
南河内中学校(Ⅱ期工事)	(4)	06	大規模改造(老朽)	校	R	H30.6～H30.10	H30.10.31		
南河内中学校(Ⅱ期工事)	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	H30.6～H30.10	H30.10.31		
国分寺東小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	H29.6～H29.9	H29.9.29		
石橋中学校(Ⅰ期工事)	(4)	06	大規模改造(老朽)	校	R	H30.9～H31.3		交付金不採択、市単独で実施	
石橋中学校(Ⅰ期工事)	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	H30.9～H31.3		交付金不採択、市単独で実施	
石橋中学校(Ⅰ期工事)	(4)	07	大規模改造(空調)	校	R	H30.9～H31.3		交付金不採択、市単独で実施	
南河内体育センター	(5)	28	社会体育施設耐震化	-	-	H28.6～H28.11		前整備計画において事後評価済み (前整備計画と記載重複)	
国分寺聖武館	(5)	28	社会体育施設耐震化	-	S	H28.7～H29.2		前整備計画において事後評価済み (前整備計画と記載重複)	
南河内東体育館	(5)	28	社会体育施設耐震化	-	S	H29.6～H29.11	H29.11.17		